



アクテノン

NO. 84

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

0.001秒の永遠～テアトロ・マジコがひそむ場所

涙 銀子 (劇団 テアトロ・マジコ主宰、劇作、演出、役者)



テアトロ・マジコ 第3回公演
「Zipang ～ジパング」
'13年4月27～29日
名古屋市千種文化小劇場にて



テアトロ・マジコ 第4回公演
「テアトロ・マジコ版☆アラビアン・ナイト
～千夜一夜物語」
'14年1月30日～2月2日
名古屋市千種文化小劇場にて

初体験の告白から初めよう。伊勢大神楽。それが僕と芸との初めての出会い。5歳の頃だ。

故郷の滋賀県の田舎では毎年、桑名の増田神社から獅子舞の旅巡業がやってくる。

その伝統芸能は、スペクタクルでダイナミック。ハラハラする軽業や曲芸で彩られ、道化が笑いを誘う。子供の僕は、失敗をしては笑わせる道化の中に、すべての芸に精通した人だけが戯れることができる、研ぎすまされた間と呼吸を見つけた。そして、その間と呼吸の隙間にはいつも神様がいた。僕たち庶民と神様をつなぐ行為としての芸の存在。夢の世界だった。

高校演劇生活の真ん中あたり、ピーター・ブルック氏の「真夏の夜の夢」を観た。稽古が役者たちの綱渡りの特訓から始められたというこの舞台。観客が自由な色で世界を思い描くことを許す白いセットの中、美の結晶のようなシェイクスピアの台詞は宇宙を描く。そこをオベロンやバックが空中ブランコで飛び交う。しかも物語の進行を担う必携アイテム・惚れ薬は、なんと皿回しの皿である。舞台上で常に惚れ薬は、役者たちの手により細い棒の上、危ういバランスを取りつつ回り続ける。

この惚れ薬が空中を飛ぶ瞬間があった。舞台の一番長い距離、回したままの皿が放たれ、待ち構えている別の棒が受け止めるのだ。物語に魅了されている観客にとって、もはやそれはただの皿ではなく惚れ薬そのものの存在感。落ちたら芝居が台無しになる。

皿が放たれた一瞬。客席全体の温度がヒヤリと下がる。見事、失敗。皿が割れる。観客がハッと息をのむ同時の呼吸で舞台袖からすでに別の皿

が差し出されていて、さらりと役者が受け取り舞台は何ごともなく続く。

一秒にも満たないこの一瞬に、演劇の存在理由のすべてがあった。

イメージの結晶・惚れ薬を、観客の想像力もろとも現実の残酷な運命にダイビングさせ一気に崩壊。間髪入れずの再生。継続された世界に安堵した観客はこの時、自らの想像力をより強く信じられる自分に潜在的に気づく。虚構でありつつナマモノの演劇のリアル。それは観客の想像力の中にしか立ち上がらない。祝福すべきその領域に仕掛けられた贈り物だと感じた。

マジコはこの一瞬の奇跡をお客様と感じたい集団だ。ファンタジーを描きたいのだと誤解されることが多いが、予め人は幻想を持つ豊かな存在。今さら押し付ける必要などどこにもない。今の時代や観客の心理に囚われすぎた舞台を創ろうとも思わない。人をどんどん弱者にするから。演劇は薬。用法を間違えると毒になる。

虚構とリアル。虚実の皮膜を行き来する遊びの隙間に世界の真理が眠っている。一秒にも満たない一瞬が永劫の時の流れを変える。演劇の時空の力はそこにある。

そしてそこにはやはり神様がいます。

演劇はいつも僕たち人間を優しいまなざしで見つめる。それは神の視点だから。我々はいつもの劇場と言う宇宙で、自分が神様であり同時に愚かで健気な人間であることを知る。

演劇は教えてくれる。世界はとても美しい。そして、僕たちはみんなとてもとても幸せな存在なんだということ。

マジコはその一瞬の永遠をお客様と生きたい。

トピックス

パフォーマンスな司会のゆくえは……!?

尾崎 恭子 (ボイスファクトリーすにい)



「パフォーマンスとしての司会を目指しなさい!」
『ボイスファクトリーすにい』を主宰する台詞のボイストレーナー、金末順(キム・マルスン)先生はおっしゃいました。「あなたたちにキレーなフツの司会なんて望んでないから。」

私たちが学んでいるのは「相手に届く言葉」。身体を整え、呼吸を整えて、吐く息に声を、そして言葉をのせてゆく稽古を重ねています。演劇や朗読は体験していても、司会の経験はほとんどないのです。だからアナウンサーの美しい声で立て板に水のおしゃべりは、私たちから遠く離れたものに思えました。

でも、言葉をあやつり、動きを洗練するのは芝居に通ずるのではなからうか。このあたりを原点に、私たちの司会は始まりました。出演者の方々と打ち合わせをして原稿を作っては実際に口のにせてみる。書き言葉と話し言葉の違いや、普段使わない丁寧語にとまどいながら、アクテノン・

フェスティバルを迎えました。

台風19号が近づくなか、2日間ともお天気だったのは出演する皆さんの心がけの賜物でしょう。けれど、司会は晴れやかとはいえませんでした。11日・12日、各3名ずつの6人で司会を担当したのですが、マイクの受け渡しにスムーズでなかったり、口ごもってしまったら……。出演する方々や機材の出入りのタイミングと、言葉が合わなかった場面はたくさんあったと思います。紙面をお借りして、ここでお詫びを申しあげます。

それでも客席には、うなずきながら聴いてくださった方や、アドリブに笑ってくださった方がいて、楽しく舞台を終えることができました。「手作り感があって、あったかかったよ。」こんな言葉もいただきました。ほんとうにありがとうございます。

来年は20周年を迎えるアクテノン。フェスティバルには楽しい仲間がいっぱい集まりますように!!

「アクテノン・フェスティバル」が行われました!



去る10月11日・12日の両日、アクテノン利用団体と名古屋音楽大学の出演者によるフェスティバルが野外劇場で開催され練習の成果を発表しました。

心配していました台風の影響もなく、今年も多くの団体が出演し、多彩なステージを延べ884名の方にご覧いただきました。口笛とモダンダンスを始めとする複数の団体のコラボ、来場者参加型の殺陣、会場全体を巻き込んだの阿波踊り等、華やかな演出に会場も盛り上がりました。

ご参加された皆さま、本当にありがとうございました。来年も多数の参加をお待ちしております。

アクテノンアドバイザーのお知らせ

演劇についての相談・質問をお寄せください。(相談料無料) メールに①～⑦を入力し、

- ①相談・質問するアドバイザー名
- ②お名前
- ③年齢
- ④地域
- ⑤所属団体(任意)
- ⑥メールアドレス
- ⑦ご質問内容

act@bunka758.or.jp まで

その他FAX.052-413-6632でも受け付けます。

〈アクテノンアドバイザー〉

- 金子 康雄 <劇座>(舞台監督など)、
- 平塚 直隆 <オイスターズ>(劇作など)、
- 村瀬 満佐夫 <劇団翔航群>(照明家)

アクテノン利用団体紹介

- ①発足年
- ②団員数
- ③主な上演作品/会場(上演年)
- ④連絡先

演劇 劇団ズッキュン娘



「純度100!不純度100!右手に愛、左手に包丁持って全力スマイル!」これが劇団ズッキュン娘のキャッチコピーです。人間は表裏一体。人間の清らかな部分も醜い部分も丸っと飲み込んで大きな愛であなたを包みたい!!痛快!爽快!愉快!な極上エンターテインメント劇をぜひご覧下さい。

キャストは毎公演女性のみで構成されているのも見所の一つ。2015年も名古屋のキャストさんと一緒に公演を行いたいと考えています。

たくさんのご応募、お待ちしております!

- ①2012年
- ②3名
- ③『グッバイ、マザー』/Shibuya Milky way('13年) 『2番目でいいの♡』/中野MOMO('14年) 『ダーリン!ダーリン!』/風姿花伝('14年)
- ④藤吉 みわ
- HP:http://www.zqn-musume.com
- E-mail:info@zqn-musume.com

アクテノンに一言 ひっそりと、どっしりとした構えのアクテノン。足を踏み入れると何だか厳かな気持ちになります。スタッフの方々が親切で、また使いたい!と思える稽古場。声を惜しまず出せる稽古場。有難いです。

演劇 改良阿修羅バスターズ



改良阿修羅バスターズです。毎週金曜日の夜に全員で稽古をしています!

我々は「殺陣演舞」という新しいジャンルで活動しています。これまでの居合道などにおける演武とは異なり、J-POPなどの音楽に合わせて「殺陣を舞う」のがスタイルです。更にお芝居も加えて(メンバー全員タレント及び役者なのです)演舞の中に立ち回りも取り入れています。様々なイベントに出演可能です!ご連絡下さい!是非よろしくお願い致します!

- ①2010年
- ②9名
- ③『I LOVE MUSIC DANCE』/アートピアホール('11年) 『RUSH! X'mas DANCE PARTY』/金山club SARU('12年) 『春日井まつりステージ』/春日井市役所庁舎('14年)
- ④川崎 稚子
- ☎090-7676-0899(代表)
- E-mail:wacwac777@gmail.com

アクテノンに一言 いつもお世話になっています!アクテノン様に恩返し出来る様、これからも精進します!

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

てんぷくプロ 第37弾 『ふなそこ』	① 七ツ寺共同スタジオ ② 12月4日(木) 19:30、5日(金) 19:30、6日(土) 14:00 19:30、7日(日) 14:00 ③ 一般前売2,800円(当日3,000円) 高校生以下1,500円 / 鹿割引等有り ④ ☎080-3618-5632 昭和の映画撮影スタジオを舞台にお贈りする、てんぷくプロ二年振りの本公演。
劇団あおきりみかん 其の参拾式 『身辺生理』	① 愛知県芸術劇場 小ホール ② 12月18日(木) 19:30、19日(金) 19:30、20日(土) 14:00 19:00、21日(日) 13:00 17:00 ③ 前売2,800円 大学生以下1,800円 高校生以下1,200円 ④ mail@aokirimikan.com 劇団あおきりみかん最新作! - 僕、あることを確かめたくて、身辺「生」理してるんです。
虚構オメガ 『ミソゲキ2014』	① ナンジャール ② 12月29日(月) 11:00、30日(火) 15:00、31日(水) 19:00 ③ 1ステージ券:1500円・2ステージ券:2500円・3ステージ券:3500円 ④ info@nagoyatrouper.com 12劇団の中に紛れての参加です。虚構オメガは全劇団のトップバッターを務めます。
Mカンパニー プロデュースVol.9 『ヴァニティーズ』	① 人形劇場 ひまわりホール ② 2015年1月23日(金) 19:00、24日(土) 13:30 18:00、25日(日) 14:00 ③ 一般前売2,500円(当日2,800円) 学生前売2,000円(当日2,300円) ④ ☎070-5335-0725(ほり) ブロードウェイでロングランの名作を、名古屋で活躍するベテラン女優三人を迎え復活。



編集発行/平成26年11月25日(年4回)

名古屋文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

